

規制委見切り発車

人事案、国会同意なし

9/12 水

新たな原子力規制の核となる原子力規制委員会が19日に発足する。人事案に国会同意を得られないまま、野田佳彦首相が見切り発車で委員を任命。当初予定した4月から半年遅れで、規制委はいわば「仮免許」で発進する。一部の与野党議員は「国会懶視」と改めて批判する見通しだ。規制委の判断の信頼性に疑問符がつく可能性もある。

19日発足 信頼性に影響

「正直言つて想定しないなかつた。きちんとしたい形でスタートできないのは残念」。委員長に就く田中俊一氏は11日、記者団にこう語った。

規制委の委員は本来なら衆参両院の同意を得たうえで首相が任命するが、通常国会では同意を取りなかつた。このため規制委設置法の付則にもとづき、同意なしで首相が19日付で任命する。法律上の発足期限が26日に迫るからだ。政府は11日、委員に就く5人在内閣官房参与に起

田中氏 再稼働基準「早急に」

原発行政への信頼回復

が原子力規制委員会の最

大の関門だ。委員長候補

の田中俊一氏は11日の記

者会見で「規制委は政治

や事業者から独立した組

織になる。事業者の意向

をくむ必要は全くない」

と強調。安全を最優先し、

電力業界に厳しく臨む構

えを示した。

田中氏はまず手がける

課題として原発の再稼働

を挙げ、安全基準の策定に「早急に委員会として取り組む」と表明した。

7月に再稼働した関西電

力大飯原発では首相と関

係閣僚が安全対策を巡る

暫定基準に基づき決めた

が、今後は規制委が新た

な基準をもとに独立して

判断する。

福島の原発事故に絡み

が「冷温停止状態」にあ

るとして収束を宣言し

た。一方、田中氏は「事

故は十分に収束したとは認識していない」と表明。

原発内外の放射性物質に

による汚染や住民の被曝

(ひばく)などのリスク

に対し安全確保を重視す

る方針も示した。

田中氏は事務局として

発足する原子力規制庁の

職員の教育や意識改革に

取り組む意向を明らかに

した。原発に慎重な意見

を持つ人と意見交換する

と野党が神経を集中する衆院解散・総選挙もにらみ、規制委が動きづらい局面は続きそうだ。

組織の正統性が揺らげ

ば、規制委の仕事にも影

響く間は次の国会で同

じが続く間は次の国会で同

い。宣言は当分解除され書も「国会同意を経ていないので田中氏らの「仮免許」の状態が長引く可能性もある。

細野豪志原発事故担当

(信頼性)に疑問符が投げかけられる」と指摘す

る。規制委は原発の防災

指針や安全基準の作り直

しに着手する。規制委へ

の批判が強まればこう

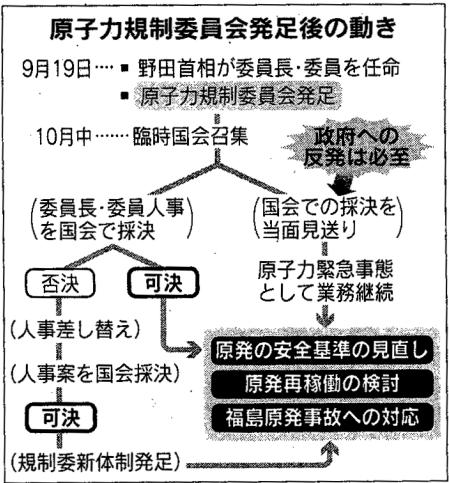
した作業も滞りかねな

断のクレディビリティ

を落とす。政府の内部文

書も「国会同意を経てい

ないことで委員長らの判



細野原発相(左)から内閣官房参与の辞令を受けた田中氏(11日、東京・霞が関)

道彦前農相も11日、「も

う一度野田首相の考え方を
聞きたい。(人事案を)
再考すべきだ」と述べ、

政府は差し替えるべきだ。
と述べた。

田中氏はこれまで手がける

課題として原発の再稼働

をくむ必要は全くない」
と強調。安全を最優先し、
電力業界に厳しく臨む構

えを示した。

福島の原発事故に絡み

が、「冷温停止状態」にあ

るとして収束を宣言し

た。原発に慎重な意見
を持つ人と意見交換する
場も検討していく。

田中氏はます手がける